

# 外国語科英語学習指導案

学 級：2年2組 42人  
場 所：会 議 室  
指導者：教諭 松元 一生  
指導者：教諭 立山 真美

## 1 単元名

SUNSHINE ENGLISH COURSE2 PROGRAM6 A Work Experience Program

## 2 単元で育成する資質・能力

本単元では登場人物が体験した職場体験学習で学んだことや感じたことについて質問や発表をしている。本校においては2, 3年生が職場体験学習に取り組んでおり, 2年生は3学期に取り組む予定である。単元の内容はこれからの学校行事に即しており, 生徒にも関心が高い内容である。

言語材料においては不定詞の「名詞的用法」, 「副詞的用法」, 「形容詞的用法」の3つの用法を扱っている。これらの不定詞の用法を理解することで表現できる内容の幅を大きく広げることができるため, 生徒にしっかりと定着させたい言語材料である。

単元全体の目標を「ALTに興味をもってもらえる職場体験学習のビデオレターを送ろう」と設定した。10名のALTに対し職場体験学習について質問をした後, ALTからの返答のビデオレターを見る。その際に「どのような職場体験学習をしたいか」また「なぜそのように考えたか」など, ALTの立場や状況に配慮しながら, 興味をもってもらえるにはどのように答えればよいかを, 本単元で学んだ言語材料を活用しながら, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて説明するよう生徒に工夫させたい。

ビデオレターを録画する際は, スピーチについて生徒同士で内容及び表現を分かりやすく伝えるためにはどうすればよいか互いにアドバイスするなど協働的に学び合う場面を設定する。また単元で新たに学習する表現及び既習の表現に慣れ親しませ, それらを今後の学習場面で積極的に使わせたいと考えている。

## 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈知識〉 ① 不定詞の各用法や現在完了の意味や働きを理解している。 〈技能〉 ① 職場体験学習について, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 不定詞や現在完了, 簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	① ALTに職場体験学習に興味をもってもらえるように, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて話している。	① ALTに自分の「職場体験学習」に興味をもってもらえるように, 事実や自分の考え, 気持ちなどを整理し, 簡単な語句や文を用いて話そうとしている。

#### 4 指導と評価の計画

時間	学 習 活 動	必 要 性	自 律 性	関 係 性	有 用 性	評価方法
1	<p>【目標】 単元の見直しをもとに。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の学習計画の確認 ○ 単元のスキーマ形成</li> <li>○ 単元の目標についての概要理解</li> </ul> <p>「ALT に興味をもってもらえる職場体験学習のビデオレターを送ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スピーチ作成のポイントの共有</li> <li>○ 教科書の内容理解(6-1)及び新出文法の確認(不定詞の名詞的用法)○ 新出語句の確認(6-1) ○スピーチの文章構成</li> <li>○ ALT への質問の作成 ○ ALT の紹介 (写真)</li> </ul>	◎	◎			主①：ワークシート
2	<p>【目標】 教科書の内容を理解し、不定詞の使い方に慣れよう</p> <p>① (名詞的用法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帯活動 (small talk…過去)</li> <li>○ 教科書の内容 6-1, 新出文法, 新出語句の復習</li> <li>○ 教科書6-2の内容理解及び新出文法の確認(不定詞の副詞詞的用法) ○ 新出語句の確認(6-2)</li> <li>○ マッピングの作成①</li> </ul>	◎	○	○		知①：ワークシート 技①：行動観察
3	<p>【目標】 教科書の内容を理解し、不定詞の使い方に慣れよう。</p> <p>② (名詞的用法, 副詞的用法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帯活動 (small talk)</li> <li>○ 教科書 6-2 の内容, 新出文法, 新出語句の復習</li> <li>○ 教科書の内容理解(6-3) ○ 新出文法の確認(不定詞の形容詞的用法) ○ 新出語句の確認(6-3)</li> <li>○ マッピングの作成②</li> </ul>	◎		○	○	知①：ワークシート 技①：行動観察
4	<p>【目標】 教科書の内容を理解し、不定詞の使い方に慣れよう</p> <p>③ (副詞的用法, 形容詞的用法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帯活動 (retelling6-1)</li> <li>○ 教科書 6-3 の内容, 新出文法, 新出語句の復習</li> <li>○ 課全体の内容, 新出文法, 新出語句の復習①</li> <li>○ マッピングの作成③</li> </ul>	◎		○		知①：ワークシート 技①：行動観察
5	<p>【目標】 不定詞の使い方に慣れよう④ (形容詞的用法, まとめ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帯活動 (retelling6-2)</li> <li>○ 課全体の内容, 新出文法, 新出語句の復習②</li> <li>○ マッピングの作成④</li> </ul>	◎	○	○		知①：ワークシート 技①：行動観察
6 (本時)	<p>【目標】 これまでに学習した表現を使って職場体験学習のスピーチをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帯活動 (retelling6-3)</li> <li>○ 既習文法の確認 ○ 単元目標の再確認</li> <li>○ ビデオレター作成① (個人, ペアでの練習)</li> <li>○ ALT からのビデオレター視聴と内容理解 (グループ)</li> </ul>	◎	◎	○	○	知①：行動観察 思①：行動観察
7	<p>【目標】 「ビデオレター」をより良いものに仕上げよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 帯活動 (retelling) ○ ビデオレター作成のポイントの設定 (グループ)</li> <li>○ ビデオレター作成② (個人, グループでの練習)</li> <li>○ ビデオレターのグループによる相互評価と発表練習</li> </ul>	◎	◎	○	○	技①：行動観察 思①：行動観察 主①：行動観察
8	<p>【目標】 これまでの練習を生かしてビデオレターを完成させよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ビデオレターのグループによる相互評価と発表練習</li> <li>○ ペアによる相互撮影</li> <li>○ 教師によるパフォーマンス評価</li> </ul>	◎		◎	◎	思①：パフォーマンス評価 主①：パフォーマンス評価

## 5 本時の実際（6／8）

### (1) 学習目標

- 「不定詞」及び「現在完了（経験）」を用いて、これから実施される職場体験学習での目標や将来の夢について、事実や考えなどを交えて話したり、書いたりすることができる。

〔知識及び技能〕

- 相手を意識しながら職場体験学習の内容などが伝わるようにスピーチなどの言語活動を行うことができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕

- 間違いを恐れず積極的に言語活動へ参加し、自分の職場体験学習について、相手に分かりやすく伝えようと粘り強く学習に取り組むことができる。

〔学びに向かう力、人間性等〕

### (2) 研究の取組

ア 生徒が外国語を使って表現したいと思えるような課題設定（日常生活と関連した課題の設定）【必要性】

イ 目標達成に向けて、学習内容を自ら具体的に考えさせる手立て【自律性】

ウ 生徒の知識と知識を結び付けさせる際に、生徒と生徒、生徒と教師、生徒と教材の関係性を活用する手立て【関係性】

エ 自分の思いや考えを発信する場面・状況を設定したり、成長を実感させたりする手立て【有用性】

(3) 展開

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	研究の取組	
導入	10分	一斉 ペア	1 あいさつをする。 2 帯活動 (retelling) へ取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語を使おうという意欲を喚起させる。</li> <li>スムーズに英語が出ない生徒へヒントを与えるなどアドバイスなどの支援をする。</li> </ul>	関係性	
展開	10分  20分	一斉	3 本時の目標を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リフレクションシートやスピーチ作成のポイントを基にこれまでの学習と自分の目標を再確認させる。</li> </ul>	必要性	
		これまでに学習した表現を使って職場体験学習のスピーチをしよう。				
		個 ペア 一斉 グループ	4 既習表現を振り返りスピーチの発表内容を考える。 ※20語程度 5 ペアで発表しあい、練習する。 ※マッピングの活用 6 ALT からのビデオレター (質問への返答) を見る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート (マッピング) やリフレクションシートを活用させる。</li> <li>スピーチ作成のポイントを基に気づいたことをメモさせる。</li> <li>聞き手の態度も意識させる。</li> <li>良い生徒の例を聞かせる。</li> <li>ビデオレターの内容を確認させる。</li> </ul>	有用性 前回までの学習や反省から本時を見通す。 関係性 自律性 チェック項目で評価の視点を明確にする。 有用性	
終末	10分	個  一斉	7 学習内容を振り返る。 8 次時の学習を確認する。 9 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習で学んだことを振り返り、リフレクションシートにまとめさせる。</li> </ul>	有用性 気付いたことをリフレクションシートにまとめる。	